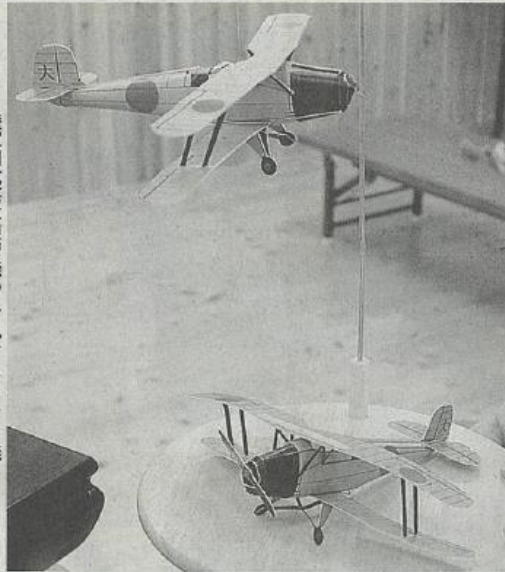


陸軍機 紙模型セット

市民グループ製作「戦争知って」



陸軍四式基本練習機のペーパークラフト機

市民グループ「くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク」は、戦時中に玉名市にあった大浜飛行場で訓練に使われていた「陸軍四式基本練習機」のペーパークラフト機(48分の1)の組み立てセット5000部を製作した。代表の高谷和生さん(62)は、同市で記者会見し、「模型づくりを通じて戦争の歴史を知ってもらいたい」と話した。

ドイツで開発された2人乗りの複葉機。陸海軍で計

1230機が生産された。ペーパークラフトは3年前、メンバーの石川幸彦さん(58)が設計し、大浜飛行場について学んでいる地元の有明中の生徒の教材として提供してきた。

今回製作したセットは学校や社会教育などの関係団体、個人向けで、切り抜き用の台紙と組み立て図・説明図(いずれもA4サイズ)が入っている。組み立て方法を紹介した動画にアクセスできるアドレスやQRコードも付いている。

希望する学校、団体は返信用のA4封筒に宛名を書き、140円分の切手を貼

つて、〒865・0061 玉名市立願寺126の5 高谷和生代表宛てに送付する。個人には500円で配布する。同会のブログ(<http://sensekinet.cool> <http://og-nifty.com/>)に申し込み方法を掲載している。